



ERS API の概要

外部 RESTful サービス API コールを使用するための前提条件

外部 RESTful サービス API コールを呼び出す前に、次の前提条件を満たす必要があります。

- GUI から外部 RESTful サービスをイネーブ爾しておく必要があります。
- 外部 RESTful サービスの管理者権限が必要です。

JAVA、curl Linux コマンド、Python などの REST クライアントやその他のクライアントを使用して、外部 RESTful サービス API コールを呼び出すことができます。

外部 RESTful サービス SDK

外部 RESTful サービス SDK を使用して、独自ツールの構築を開始できます。次の URL から外部 RESTful サービス SDK にアクセスできます。<https://<ISE-ADMIN-NODE>:9060/ers/sdk>

外部 RESTful サービス SDK には、外部 RESTful サービス管理ユーザのみがアクセスできます。SDK は、次のコンポーネントで構成されています。

- クイック リファレンス API マニュアル
- すべての利用可能な API 操作の完全なリスト
- ダウンロード可能なスキーマ ファイル
- ダウンロード可能な Java のサンプル アプリケーション
- cURL スクリプト形式の使用例
- python スクリプト形式の使用例
- Chrome POSTMAN の使用方法

次の API が SDK で使用できます。

- 証明書テンプレート API
- 脅威と脆弱性のクリア API
- 出力マトリックスセル API
- エンドポイント API
- エンドポイントの証明書 API
- エンドポイント アイデンティティ グループ API

- ゲスト ロケーション API
- ゲスト SMTP 通知設定 API
- ゲスト SSID API
- ゲスト タイプ API
- ゲスト ユーザ API
- ホットスポット ポータル API
- IP-to-SGT マッピング API
- IP-to-SGT マッピング グループ API
- ISE サービス情報 API
- アイデンティティ グループ API
- アイデンティティ シーケンス API
- 内部ユーザ API
- マイ デバイス ポータル API
- ネイティブ サプリカント プロファイル API
- ネットワーク デバイス API
- ネットワーク デバイス グループ API
- ノードの詳細 API
- RADIUS サービスのある PSN ノードの詳細
- ポータル API
- ポータルのテーマ API
- プロファイラ プロファイル API
- SMS サーバ API
- SXP 接続 API
- SXP ローカル バインディング API
- SXP VPN API
- セキュリティ グループ API
- セキュリティ グループ ACL (SGACL) API
- セルフ登録ポータル API
- スポンサー グループ API
- スポンサー グループ メンバー API
- スポンサー ポータル API
- スポンサー ゲスト ポータル API

外部 RESTful サービス API の認証および承認

外部 RESTful サービス API は HTTPS プロトコルおよび REST 方法論に基づいており、ポート 9060 を使用します。

外部 RESTful サービス API は、基本認証をサポートしています。認証クレデンシャルは、暗号化され、要求ヘッダーの一部となっています。

ISE 管理者は、外部 RESTful サービス API を使用して操作を実行するための特権をユーザに割り当てる必要があります。

外部 RESTful サービス API (ゲスト API を除く) を使用して操作を実行するには、次の管理者グループのいずれかにユーザを割り当て、Cisco ISE の内部データベース (内部管理者ユーザ) に保存されているクレデンシャルに対して認証する必要があります。

- 外部 RESTful サービス管理者: すべての ERS API へのフルアクセス (GET、POST、DELETE、PUT)。このユーザは、ERS API 要求を作成、読み取り、更新、および削除できます。
- 外部 RESTful サービス オペレータ: 読み取り専用アクセス (GET 要求のみ)。

必要な権限がない場合に外部 RESTful サービス API を使用して操作を実行しようとする、エラー応答を受信します。

